

3 地域特性をふまえた 災害リスクへの対応

市民・事業者の皆さんと次のことに取り組みます。

- 豪雨等による浸水被害の防止・軽減対策
- 地下街等の管理者による、津波や豪雨による浸水からの避難確保計画の作成及びその実施
- 大阪市施設の耐震対策や市民・事業者による建築物の耐震化の促進
- エレベーター閉じこめ防止策
- 建築物の不燃化など市街地の防災構造の改善
- ターミナル駅周辺での帰宅困難者対策の推進

○「(仮称)市民防災ハンドブック」と「(仮称)水害ハザードマップ」の配布

災害から身を守るための日頃の備えや、災害に対する正しい知識をまとめたパンフレットを3月に全戸配布します。

4 多様な主体による 参加・参画促進

大阪市では、女性や高齢者、障がい者など、さまざまな人が防災・減災対策に参画しやすい環境づくりを進めます。

あわせて、ニーズに応じた備蓄品目の拡充など、要配慮者(高齢者、障がい者、乳幼児等)に配慮した防災・減災対策を進めます。

〈記事訂正とお詫び〉12月号(12月1日発行)において、防災・減災条例案が市会にて審議中という記載をしていますが、平成26年11月28日に開催された市会本会議にて全会一致で可決されましたので、訂正してお詫び申し上げます。

問い合わせ 危機管理室危機管理課 ☎6208-7388 FAX6202-3776

天王寺公園が今秋にリニューアル!

大阪市では、「天王寺・阿倍野地区」の核となる天王寺公園において、民間活力の導入により、来園者に都市公園としての新たな魅力を提供し、さらには地区全体の集客力・地域ブランド力の向上を図るため、エントランスエリア等の整備・運営管理を行う民間事業者を決定しました。

天王寺動物園100周年記念コアイベントの行われる今秋にリニューアルオープンし、動物園や美術館と連携しながら、新たな「活動拠点」へと天王寺公園が生まれ変わります!

●事業期間

平成27年10月1日～平成47年9月30日(20年間)

●事業対象区域

エントランスエリア・バス駐車場、茶臼山北東部エリア

●民間事業者の実施する事業概要

ハード事業 ▶ 芝生広場(約7,000㎡)、カフェ・レストラン、子どもの遊び場、フットサルコート、ランニングステーション等を導入

ソフト事業 ▶ 地域密着型イベントからターミナル立地をいかした話題性・集客力のあるイベントまで、幅広い事業を展開

維持管理事業 ▶ 清掃・警備、緑地・施設維持管理

〈エントランスエリア〉

大規模な芝生広場の整備によって、天王寺公園の景観イメージを一新します。また、新たにレストラン・カフェ、子どもが元気に遊べる場所や、ランナーのためのサポート施設などを設置する予定です。さらに、美術、歴史に関連したイベント、パブリックビューイングなど、地域密着型から観光集客型まで、この公園にしかできない幅広い事業の展開を計画しています。



芝生広場イメージ図

※平成27年3月末まで、大阪市による整備工事を行い、平成27年春から、事業者による公園整備工事を実施します。また、工事期間中は、エントランスエリアの大部分が利用できなくなります。

〈茶臼山北東部エリア〉

現在閉鎖中の茶臼山北東部エリアについても、公園の再整備によりカフェ等を導入し、公園と上町台地方面をつなぐ玄関口として開放します。

問い合わせ 経済戦略局観光課(天王寺魅力担当) ☎6469-5155 FAX6469-3896

※☎FAX特に記載のないものは市外局番「06」です。